

## チャレンジ教室で蒔絵体験



都路公民館では6月30日、小中学生を対象にチャレンジ教室を行いました。会津若松市にある漆器店の工房を訪れ、一人一人が蒔絵に挑戦しました。

蒔絵体験では、茶碗や皿などの漆器に自分の好きな絵を描き、そこへ思い思いの色をつけていきました。きれいな模様が浮き出た漆器は、普段使うにはもったいないほどの出来栄で、児童たちからは「思い出に飾っておきたい。」との声が上がっていました。

このほかに県立博物館を見学したり、茶道の作法を体験したりと充実した一日を過ごしました。

## 軽やかなステップを学ぶ

船引公民館の「スポーツ&カルチャーDAY ヒップホップダンス教室」が6月30日、市文化センターのリハーサル室で行われました。15人が参加し、テンポの早い音楽にあわせてヒップホップダンスを踊りました。

参加者はインストラクターの藤田先生の指導でストレッチから始まり、少しずつ難しい動きに挑戦。汗びっしょりになりながら、全体でのダンスを何とか踊りきることができました。最後には、全員の顔にさわやかな笑顔が見られました。



## おいしさひとしお「かまぼこ」作り体験



都路公民館の福寿草大学の参加者が7月4日、いわき市で「かまぼこ」アートと「ちくわ」作りを体験しました。みんな初めての挑戦でしたが、創造力豊かに工夫を凝らした「かまぼこ」や「ちくわ」を作りました。昼食では焼きたてのちくわをいただきましたが、自分で作ったちくわは格別で、とても美味しかったです。また、アクアマリンでは館内を見学したあと、昨年の大津波による被害や復興までの苦労話を聞き、「自分たちも災害に負けてはいられない。」と元気づけられました。

## 茶道の心を味わう



船引公民館の「男快の世代教室 茶道教室」が6月23日、市文化センターの茶室・和室で開かれました。団塊の世代の9人が参加し、茶道の歴史や茶道具、お茶の種類などの説明を受けたあと、作法を学び、お茶を立ていただきました。

参加した皆さんは、日ごろ茶道に接する機会がないため、「勉強になった。心が清らくなった。感動した。」などと話していました。

## ふるさとへの思い深く「ふるさと滝根会」



ふるさと滝根会の総会が7月1日、東京都千代田区の東海大学校友会館で開かれました。会員や来賓など約80人が出席し、10月の星の村文化まつりに合わせたふるさと訪問などの事業計画を決めました。終了後の交流会ではバイオリンとフルートの演奏や抽選会が行われ、最後は盆踊りの輪ができるなど会場は大いに盛り上がりました。また、ふるさと産品の販売も好評で、盛況のうちに閉会となりました。

## 採用に向け活発な情報交換



市内企業に就職を希望する高校生の採用と定住促進を目的とする「市内立地企業と高校進路指導担当教諭等との懇談会」が7月6日、船引公民館で開かれました。

船引高校をはじめとする9校の進路指導担当教諭と市内立地企業17社の採用担当者が出席し、新卒者の採用について活発な情報交換を行いました。